

放射線科 初期研修プログラム

必ず習得するアウトカム

1. 日常臨床で役立つ基礎的画像診断能力を身につける。
2. CT やMRI の適切な撮像法、依頼の仕方、安全性について理解する。
3. がん治療における放射線治療の役割、適応疾患、照射方法について理解する。

研修目的

放射線診療の基本的知識を身につけ、適切な画像検査法の選択・依頼、得られた画像を正しく診断する能力を身につける。またがん治療における放射線治療の特色と役割を理解する。

研修目標

◇一般目標

- 1) 放射線診断は主に CT 検査および MRI 検査について、画像診断の基礎（原理、撮影方法、画像解剖、読影方法）、安全性を学ぶ。
- 2) 放射線治療の役割、適応疾患と照射方法を学習する。

◇行動目標

- 1) 放射線被曝の基礎知識と被曝低減について学ぶ
- 2) 画像診断で必要となる画像解剖について学ぶ
- 3) CT・MRI 検査の特色、適応、安全性を学ぶ
- 4) 画像検査法の依頼（とくに臨床情報の提供の重要性）について学ぶ
- 5) 日常臨床において頻度の高い疾患の画像診断における特徴を学ぶ
- 6) 放射線治療の特色、適応疾患と照射方法について学ぶ

◇研修期間中に経験可能な疾患・疾病、および手技

全身各臓器の頻度の高い疾患を中心とした画像診断、日常臨床で頻度の高い悪性腫瘍に対する放射線治療。

画像診断レポート作成目標 50 件/1 ヶ月

放射線治療計画目標 5 件/1 ヶ月

研修方略

- 1) CT・MRI 画像を読影し、疑問点を参考書などで調べ、レポートを作成する
- 2) 上級医に作成した画像診断レポートのチェックを受ける
- 3) 参考書を読み、上級医に指摘されたことについて確認する
- 4) 放射線治療の初診から治療計画まで関わる
- 5) 治療中・治療後の症状・画像所見の変化をもとに、治療効果判定、副作用の評価を行う

研修評価

- 1) 画像レポート作成件数
- 2) 研修中の
- 3) 立ち会った放射線治療計画件数

週間予定表

	午前	午後
月	CT・MRI 読影	CT・MRI 読影
火	CT・MRI 読影	CT・MRI 読影
水	CT・MRI 読影	CT・MRI 読影
木	CT・MRI 読影	CT・MRI 読影
金	CT・MRI 読影	CT・MRI 読影

放射線治療計画については、計画を行うときに希望に応じて随時

指導責任者および指導医

指導責任者：山田隆之

指導医：田村亮

〃：松浦智徳

〃：石川陽二郎

〃：佐谷望

〃：古積麻衣子

〃：加賀谷由里子

学生（4～6年生）や他科研修中研修医のカンファレンスの参加の可否

参加可 ・ 参加不可

研修医発表会、学会発表に対する指導体制

指導医が症例呈示、スライド作成の方法について指導する

同時期に受け入れ可能研修医数（1クール：1ヶ月）

1 名/1クール